2023 年 9 月 5 日

思春期の女の子の権利と SDG サミットに関する G20 首脳への公開書簡

G20 首脳のみなさま

2023 年 9 月 9 日～10 日に開催される G20 サミットが間もなく開催されますが、G20 後には、第 78 回国連総会と 2030 アジェンダ実施の中間点となる持続可能な開発目標（SDG）サミットが行われます。G20 首脳の皆様は、SDGs の達成に向けて極めて重要な立場にあります。

プラン・インターナショナルは、インドが今年の G20 議長国として、SDGs 達成のために女性主導の開発に取り組むことを歓迎するとともに、すべての G20 首脳に対し、ジェンダー平等、特に思春期の女の子の権利と幸福を促進するため、G20 首脳宣言においてより野心的な目標と投資を設定することを求めます[1]。さらに、私たちは、これらの目標と投資を、来たる SDG サミットにおける各国の公約に反映させることを求めます。

思春期の女の子は、年齢やジェンダーによって、さまざまな、そして交差性の差別に直面しやすい段階にあります。思春期の女の子を中心に据えた介入への投資は、複数の SDGs のゴールの実現につながることは証明されています。反ジェンダー運動の高まり、市民スペースの縮小、そして差別を悪化させかねない権利保障の後退が見られる中、私たちは G20 首脳に対し、思春期の女の子がその多様性の中で、暴力からの保護、栄養、性と生殖に関する健康を含む心身の健康、経済的エンパワーメント、教育、政治参加に関する権利を十分に享受できるよう、適切な行動で対応するよう求めます。

私たちが G20 首脳に求めるのは以下の 4 点です。

(1) 思春期の女の子やユースの参加を制度化し、彼らの提言に優先的に対応すること。

G20 首脳は、ユースコンサルテーションから提起された持続可能なライフスタイルの実現と、将来世代の仕事の需要への対応について、彼らの提言を優先すべきです。女の子とユースが意見を求められ、意義ある参加をし、リーダーシップを発揮することは、ガバナンスと SDG 実施プロセスにおいて権利として制度化されるべきです。さらに、ユースの参画に対し、適切な資金調達と投資がなされ、支援を確実にすべきです。

---

[1] “Accelerating the Achievement of SDGs for Adolescent Girls- Evidence from Sub-Saharan Africa” 2023, Plan International.

(2) 気候変動のジェンダー的影響に対処すること

私たちは、2030 アジェンダに関する 2023 年行動計画において、気候変動の軽減と適応における意思決定への女性の参加とリーダーシップを支援し、増加させるという取り組みを歓迎しますが、これらの過程への女の子と若い女性の参画を求めます。これには、女の子や若い女性の経験や専門知識を認識し、リーダーシップを支援し、彼女たちのアイデアや解決策に資金を提供し、実現させることが含まれます。

これは、温室効果ガスの排出削減、グリーン経済への移行、適応、政策過程への影響など、気候変動対策のあらゆる側面において重要です。社会から疎外された女の子や若い女性が経験する不平等や差別は、気候変動によって増幅されます。彼女たちは気候変動の影響を最も影響を受けますが、それに対処するために必要な情報や資源を得られないことも多いのです。

気候正義を前進させ、教育システムの回復力を強化し、女の子の教育を守るジェンダー・トランスフォーマティブ教育は、女の子の気候変動対策への参加を支援する上で不可欠です。

(3) ジェンダー・トランスフォーマティブ教育への投資 [2]

私たちは、昨年の首脳宣言及び 2023 年行動計画において、特にジェンダー情報格差を解消することにより、教育が全ての人、とりわけ女の子と女性にとってアクセス可能になることを確保するとの約束がなされたことを歓迎します。この約束を実現するために、「教育の財源に関する行動要請」[3]に示された課題に取り組む必要性を改めて表明し、教育資金（ODA 及び国内予算）を優先的に増額し、世界的な教育支援の取り組みに十分な資金が提供されることを強く求めます。

(4) 世界の飢餓危機を終わらせること

2030 アジェンダに関する 2023 年行動計画には、女性の食料安全保障と栄養に関する取り組みが盛り込まれていますが、プラン・インターナショナルは、飢餓危機への対応と食料不安の予防のためのすべての資金調達と取り組みを、食べる量が最も少なく、食事の順番を後回しにされがちな女の子と若い女性のニーズを考慮するよう、昨年発表した公開書簡 [4]で呼びかけたことを改めて表明します。さらに、G20 首脳は、食料不安の状況におかれている子どもの保護や、ジェンダーに基づく暴力に取り組む具体的なプログラムを優先し、紛争の影響を受けている飢餓のホットスポットにおける人道的アクセスを促進し、平和の見通しを高めるための人道的外交努力を進め、脆

---

[2] ジェンダー・トランスフォーマティブ教育は、力関係に挑戦し、ジェンダー規範と二元論を再考し、不平等と抑圧のシステムの根本原因について批判的な意識を高めることによって、ステレオタイプ、態度、規範、実践を変革するために、政策から教育法、コミュニティの関与に至るまで、教育システムのあらゆる部分を活用しようとするものです。ジェンダー・トランスフォーマティブ教育は、女の子や女性の教育へのアクセスを改善させるだけでなく、生徒、教師、コミュニティ、政策立案者などステークホルダーが、有害なジェンダー規範や、男の子や男性を女の子や女性、その他のジェンダーに優越させる力の不均衡について検討し、変革に取り組むよう促すものです。

[3] https://www.un.org/en/transforming-education-summit/financing-education

[4] https://plan-international.org/news/2022/11/14/g20-must-address-hunger-crisis/

弱な状況で暮らすコミュニティの回復力強化を支援するべきです。

私たちは、インドが G20 議長国として、「ひとつの地球、ひとつの家族、ひとつの未来」に向けて、ユースや思春期の若者の声や願いに耳を傾ける努力を行ってきたことに感謝します。私たちは、すべての人のための持続可能な開発を達成するために不可欠なパートナーである、思春期の女の子の権利と幸福に対する皆様の取り組みを期待しています。

敬具

プラン・インターナショナル